

平成 26 年度 事業報告

障がい者デイサポートセンター明日葉

障がい者デイサポートセンターでは、ご利用者様の人権とプライバシーに最大限配慮し、障がいを持つ方の自立と自己実現に向けサービス提供の幅を広げるような活動を行ってきました。

良質で適切なサービスの提供については、ご利用者様の生きがいを高めるため各種活動を通して常に内容の充実を図り、ご利用者様の身体面・精神面の向上を目指しサービス提供に努めています。

社会参加を意識した活動については、個々の障がいの程度に応じた活動を継続的に行いスキルアップ、モチベーションの向上を図り、また社会適応訓練では外出等の実践的内容の中で自らが社会資源の活用方法や社会交流の場を求めていける環境を提供しています。

リハビリテーションの充実については、日常動作訓練を重視しながら個人の身体的状況に合わせた内容を実施するため、ご本人との相談や関係機関との連携を密に図りながら進めています。

個別支援計画の実践については、ご利用者様とのコミュニケーションを十分に図りニーズを相互理解した上で取り組める様、職員の知識を高め経験を生かしながらかご利用者様に的確な支援ができるよう努めています。

健康管理面の充実については、看護職員によるご利用時のバイタル測定を実施し、その推移や状態把握した中で異常時はもとより、担当医や他のサービス機関との連携を密にしながらか施設利用時のみならず、在宅でも安心安全な生活が確保できるように取り組んでいます。また、感染症の拡大防止のため普段より予防に努め、感染症の流行期には、ご利用時の手洗いやうがいの実施、感染症情報、予防対策等の提供を行い常に健康維持に努めるよう促しています。職場の環境においてもストレスや腰痛など健康管理に留意し業務遂行に支障をきたす事の無いよう努めています。

相談援助業務の強化については、ご利用者様やご家族様の視点に立った双方向性のある展開でプライバシーと個人情報保護の視点で行っています。計画相談事業所及び関係機関との連携を積極的に行い円滑な関係性を保ち情報を的確に把握し援助していくよう努めています。

地域に開かれたサービス内容の展開については、立地している万代地区を中心に近隣小学校との地域交流、ブログの掲載、実習生やボランティアの受入れ、地域に出向いて交流会等、一方的な活動ではなく、地域のニーズに応えるよう共生社会の普及を自らが実践していくように努めています。

職員研修体制の充実については、既存の知識や慣例に流されることなく自己研鑽に努め、新しい情報や知識を積極的に取り入れ、内部外部研修の参加や伝達研修等を実施するよう努めています。

災害等緊急時対応における安全対策の実施と対策については、いかなる災害や緊急時においてもご利用者の安全を最優先に考え、定期的な設備点検や緊急時の対応や訓練を常日頃より実施し検証を重ねています。

適正な請求業務及び予算執行管理については、請求業務を適正に行う事はもとより予算執行については職員一人一人が意識し無駄をなくす等経費運用の見直し、工夫を行っています。また、経費節減によりサービスの低下を招かないよう工夫をしながら事業運営を実施するよう努めています。